

STEP 4-2 期末評価

事業全体の目的と目標の確認

事業全体の目的	生活習慣病関連の医療費の削減と予備軍の予防を目指す。
事業全体の目標	目的を達成するための新規保健事業の拡充を3年以内に整えたい。

健康課題ごとの振り返り

1	疾病別の医療費において1位の特殊目的コード（コロナウイルス感染症関連）に続いて「呼吸器系の疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」「循環器系の疾患」の順に高く、「腎尿路生殖器系の疾患」の割合は他の健保よりも高い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	事業形態(コールセンター、派遣等)により、コロナ関連・呼吸器系疾患の医療費が高くなっていることがわかった。 また、若年層の加入者が多いため、相対的に生活習慣病以外の医療費が高くなっていることがわかった。 これらを踏まえて対策の方向性を今後検討することとする。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	D							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度

2	生活習慣病ごとの医療費において「糖尿病」「腎不全」「虚血性心疾患」の順に高い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	要検査対象者の抽出を行い。事業主と共有することで早期対策を促した。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	A							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度

3	悪性新生物ごとの医療費・患者数において男性は「大腸がん」、女性は「乳がん」「子宮頸がん」の割合が多い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	A	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	女性の婦人科系がん検診は30歳以上、大腸がん検診は35歳からと若年層からの対策を行うことができた。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	A							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度

4	メタボリックシンドロームの基準該当者割合が男女ともに高い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	特定保健指導の実施を外委委託業者1社に委託していたが、実施率をモニタし、実施率の伸び悩みを解消するために、R5年度より、2社に委託することで、利用率向上を図るような施策を実施した。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度

5	喫煙率（40歳以上）が他健保と比較して男女ともに高い。 ※令和元年度 特定健診の「問診回答」に関する調査（健康保険組合連合会政策部調査分析グループ）による「現在、たばこを習慣的に吸っている」者の割合 ※令和元年度の特定健診受診者 457 万 947 人（514 組合）の特定健診データ男性：34.7% 女性：12.6%							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	加入者が流動的で個別の施策の実施が難しく、広報活動にとどまった。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	D							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度

6	疾病別の医療費において特殊目的コード（コロナウイルス感染症関連）が一番多い。							
対策の達成度 (アウトプットの評価)	D	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	事業形態(コールセンター、派遣等)により、コロナ関連の医療費が高くなっていることがわかった。 インフルエンザ予防接種補助額をR5年度より3,000円に増額し、コロナの予防接種にも使えるように制度を整備したが、実際は政府補助が継続したため、利用はなかった。					
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	D							
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度

健康課題と紐付いていない事業一覧

該当なし（これまでの経緯で実施する事業）								
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
1	ジェネリック医薬品促進事業	情報発信率	100.0%	-	-	利用率	101.9%	-
		ジェネリック医薬品の使用割合	-	111.0%	-%			
2	インフルエンザ予防接種	接種人数	52.0%	42.0%	-%	設定なし	-	-
該当なし								
番号	事業名	アウトプット指標達成度			アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度 令和5年度
1	健康管理のICTツールの提供、健保ホームページの運用	閲覧回数	147.9%	130.0%	-%	登録率	82.0%	-

第2期のデータヘルス計画への取り組みに対する振り返り

No	設問	回答	評価理由（成功要因や阻害要因など）
		← 全くなかった よくできた →	
1	STEP1-3基本分析において、自組合集団としての健康状態を客観的に可視化できたか？		健保連の医療費データを利用して、毎月分析して、事業主と共有している。一年に一度外部委託業者による全体分析を行っている。
2	STEP2健康課題の抽出において、適切に健康課題を抽出することができたか？		課題を抽出することで、課題認識ができた。
3	STEP2健康課題の抽出において、優先すべき健康課題や対策の方向性を的確に定めることができたか？		方向性を定めることはできたが、予算上の課題があった。
4	STEP3 保健事業の実施計画において、事業全体の目的や目標を適切に掲げることができたか？		R5年度から実績を踏まえて保健事業の見直しを実施できた。
5	STEP3 保健事業の実施計画において、「保健事業の基盤」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？		適切に立案することはできた。
6	STEP3 保健事業の実施計画において、「個別の事業」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？		適切に立案し、随時見直しを行うことができた。
7	STEP3 保健事業の実施計画において、保健事業の評価指標を適切に設定することができたか？		適切な評価指標かについては継続して見直す。
8	STEP4-1 事業報告において、年次の事業進捗やアウトプット、アウトカムを評価することができたか？		評価したうえで、次年度の保健事業の策定に役立てることができた。
9	STEP4-1 事業報告を理事会や組合会での報告に活用し、次年度の事業計画に活用することができたか？		事業主へ定期的な共有を行い、活用することができた。
10	保健事業を実施するにあたって事業主とのコラボヘルスの体制をどの程度構築することができたか？		月次の共有などでコラボヘルスの体制を構築できた。今後は具体施策を検討していく。
11	加入者のヘルスリテラシー向上に向けた取り組みを行うことができたか？		ポピュレーションアプローチツールやHPを活用して、健保からの情報発信を行うことができた。